

自治センターだより

やまはし

31年3月号

編集と発行 山橋自治センター
 発行責任者 十文字 秀 男
 発行日 平成31年3月1日
 電話 0247-26-1065
 F A X 0247-26-3109



青少協の標語看板設置

自治センターだよりの1月号で、標語の入選作品を掲載しましたが、優秀作品の立看板が完成し山橋地区に10基設置しました。

今後、3年間設置の予定ですので、地区の皆さんも大切に見守って下さい。

なお、青少協の活動に対し、「小さな親切運動本部」から表彰を受ける予定です。



石ころ多の名刺作成

山橋地区まちづくり委員会の石ころ多は、県内外のイベントに出場し活躍しているが、この程新しい名刺を作成した。

名刺の表

31年度も10数回の出張を予定している。

まちづくり委員会の営業部長として山橋地区のPR活動をします。

益々の活躍を期待しています。



名刺の裏



企画推進員会で新年会

企画推進員会(渡辺優子会長)は9日、30年度第3回の委員会を開き事業報告会を開催した。企画推進員・顧問・事務局員等16名の参加となった。自治センターの3大行事を始め、企画推進員会の計画による「区民ハイキング」・「エクササイズ」・「視察研修」等の行事報告が行われた。

会議終了後、新年会が行われ、和気あいあいの中で楽しいひと時を過ごした。



3月の主な行事

日	曜	行事予定	備考	日	曜	行事予定	備考
1	金	豊遊塾閉講式	宮城県	13	水	ふれあい広場	自治センター
8	金	ふれあい事前会議	自治センター	23	土	エクササイズ	自治センター

ふれあい広場第5班カルタ大会

ふれあい広場第5班(添田善司班長)は13日カルタ大会を開催した。大寒に入り寒い日が続いていたが、利用者の皆さんは元気に参加しました。石川町町民カルタを2回と山橋区民カルタを行った。それぞれ、石川、山橋の名所旧跡が読み込んであり、改めて郷土にある貴重なものを認識した。

今月の誕生日は、添田ハルさん、添田キミさん、緑川ミツさん、小豆畑ヨシ子さんでした。



健寿大学で閉講式

健寿大学(高原栄紹委員長)は21日、30年度の事業を計画どおりに終了し、閉講式をおこなった。

事業報告のあと、事業計画で来期の内容について審議し、移動研修などについて話し合われた。

会議終了後、5人1組となって、輪投げゲームをした。なかなか思い通りの所に入らず、一喜一憂しながら、楽しんだ。来期は5月に開講式を行い、新年度の行事がスタートする。



みそづくり講習会開催

まちづくり委員会産業おこし部会(大平周一部会長)は、11日に16名の参加で味噌づくり講習会を開催した。それに先立ち、8日からは、味噌の原料となる麴を3日かけて作った。麴30kg、米30kg、塩15kgを使用し、手作り味噌を作った。

涼しい所に半年くらい寝かせておくと、美味しく食べられるとの事。参加者は、煮てつぶした大豆を冷ましながらかき混ぜ、力を入れて練りこんでいた。

午後からは、まちづくり委員会のメンバーで、喜多方の小原豆腐店を講師にむかえ、豆腐づくりを学んだ。



山橋自治協議会安全安心部会開催

山橋地区自治協議会安全安心部会(小木義家部会長)は、22日16名の参加で部会会議を開催した。

山橋駐在所の青砥さんを講師に迎え山橋地区の交通事故・防犯等の現状についての講話を頂いた。その後各構成団体の長から活動報告があった。交通事故の件数は減少しているものの、火災と軽微な窃盗事件が発生している。注意が必要。